

取扱説明書



DIGITAL WIRELESS

デジタルワイヤレスヘッドホンシステム

ATH-DWL500

お買い上げありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

内容物を確認する

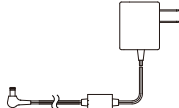
本製品をご使用になる前に、下記の内容物がすべてそろっていることを確認してください。万一、内容物に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社お客様相談窓口(16ページ)までご連絡ください。



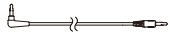
●ヘッドホン (ATH-DWL500R) × 1



●トランスミッター (AT-DWL500T) × 1



●ACアダプター (AD-SM1205A0) × 1



●接続コード (1.2m) × 1 (L型プラグ)



●変換コード(10cm) × 1

- 保証書
- 取扱説明書 (本書)

安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

ヘッドホンについて

警告

- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内の場所では使用しない
ペースメーカーが、本製品の電波の影響を受ける恐れがあります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しない
電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。
- 自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しない
交通事故などが原因となります。
- 周囲の音が聞こえないと危険な場所(踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など)では使用しない
交通事故などが原因となります。
- 肌に異常を感じた場合は、使用しない。
すぐに使用を中止してください。症状が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。

注意

- 耳をあまり刺激しない適度な音量で使用する
大音量で長時間聴くと聴力に悪影響を与えることがあります。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
故障、不具合の原因になります。
- 分解や改造はしない
感電、故障や火災の原因になります。
- 火気に近づけない
変形、故障や火災の原因になります。
- ベンジン、シンナー、接点復活保護液などは使用しない
変形、故障の原因になります。

トランスミッターについて

警告

- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内の場所では使用しない
ペースメーカーが、本製品の電波の影響を受ける恐れがあります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しない
電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。
- 付属の AC アダプター以外は使用しない
故障、不具合の原因になります。
- 異常に気付いたら使用しない
異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがあつたら、すぐにコンセントから抜き、お買い上げの販売店が当社のサービスセンターに修理を依頼してください。
- 分解や改造はしない
感電、故障や火災の原因になります。
- 強い衝撃を与えない
感電、故障や火災の原因になります。
- 濡れた手で触れない
感電やけがの原因になります。
- 水をかけない
感電、故障や火災の原因になります。
- 本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない
感電、故障や火災の原因になります。
- 布などでおおわない
過熱による火災やけがの原因になります。
- 同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない
事故や火災の原因になります。

注意

- 不安定な場所に設置しない
転倒などによりけがや故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
故障、不具合の原因になります。
- 火気に近づけない
変形、故障の原因になります。
- ベンジン、シンナー、接点復活保護液などは使用しない
変形、故障の原因になります。

AC アダプターについて

警告

- 本製品以外には使用しない
過熱による火災など事故の原因になります。
- 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない
異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店が当社のサービスセンターに連絡してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない
過熱による火災など事故の原因になります。
- コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む
過熱による火災など事故の原因になります。
- コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする
断線、故障の原因になります。
- コードの上にも物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない
断線、故障の原因になります。
- 分解や改造はしない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 強い衝撃を与えない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 濡れた手で触れない
感電によるけがの恐れがあります。
- 布などでおおわない
過熱による火災など事故の原因になります。
- プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る
過熱による火災など事故の原因になります。
- ベンジン、シンナー、接点復活剤など薬品は使用しない
変形、故障の原因になります。

注意

- 長時間使用しないときは、コンセントから抜き省エネルギーにご配慮ください。
- 通電中のACアダプターに長時間触れない
低温やけどの原因になることがあります。
- 定に引っかかりやすい場所にコードを引き回さない
故障や事故の原因になります。

ニッケル水素充電電池 (内蔵) について

危険

- 電池の液が目に入ったときは目をこすらない
すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。
- 火の中に入れて、加熱、分解、改造しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 落下させたり強い衝撃を与えない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 以下の場所で使用、放置、保管しない
・直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
・炎天下の車内
・ストーブなどの熱源の近く
液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
- 水に濡らさない
発熱、破裂、発火の原因になります。
- 電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。
- 万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で十分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
- 皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。
- 皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。

注意

- 付属の AC アダプター以外をトランスミッターに使用して充電を行わない
故障や火災の原因になります。
- 機器を使用したあとは必ずスイッチを切る
液漏れの多くは、スイッチの切り忘れによる電池の消耗が原因です。

ニッケル水素充電電池 (内蔵) について (つづき)

■内蔵充電電池の交換について

本製品を十分に充電しても使用時間が短くなった場合は、内蔵充電電池の寿命が考えられます。内蔵充電電池の交換は、お客様ご自身で行うことはできませんので、当社サービスセンターへご相談ください。

○サービスセンター 0120-887-416
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)

■本製品を廃棄する場合 リサイクルのお願い



NI-MH

内蔵充電電池はリサイクルできます。本製品を廃棄するにあたり、リサイクルにご協力いただける場合は本製品を下記宛まで着払いにてお送りください。なお、電池を取り出したあとの本製品は返却いたしかねますので予めご了承ください。

○送り先
〒915-0003 福井県越前市戸谷町87-1
株式会社テクニカフイ 二次電池回収担当 宛
TEL : 0778-25-6736(電池回収専用)

使用上の注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書必ずお読みください。
- 本製品の近くにBluetooth搭載機器、無線LAN・Wi-Fiを使用する機器、デジタルコードレス電話、電子レンジなど、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を使用する機器があると本製品にノイズが入ることがあります。その際は離して使用してください。
- 本製品を設置する際、トランスミッターとヘッドホンの間に電波を遮るような障害物がないようにしてください。
- テレビやラジオのアンテナ付近で使用すると、テレビやラジオにノイズが入ることがあります。その際は離して使用してください。
- 電池の消耗を防ぐため、使用後や本製品を使用しないときは本製品の電源を切ってください。

充電について

- 初めて使用する際は、必ず満充電を行ってください。
- 初めて充電するときや長時間使用していないときは、充電電池の持続時間が短くなる場合があります。その際は、何回か充放電を繰り返すと通常の充電ができるようになります。
- 内蔵充電電池を保護するため、2か月に1度は充電を行うようにしてください。放置しすぎると充電電池の持続時間が短くなります。
- 電池を使い切らないうちに充電を繰り返すと、充電状態とは無関係に電池が消耗するメモリー効果と呼ばれる現象が起きます。その場合、1度電池を使い切ってから充電してください。
- 本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所(目安として10~35℃)で充電してください。電池の劣化を招き、連続使用時間が短くなる、充電ができなくなるなどの恐れがあります。

ワイヤレス機器について

本製品は 2.4GHz の周波数帯を使用します。この周波数帯域を使用するほかの機器との電波干渉を避けるために、下記事項をお読みのうえご使用ください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家庭用電気機器・IT・産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許が必要）、特定小電力無線局（免許が不要）、およびアマチュア無線局（免許が必要）が運用されています。

1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合は、速やかにトランスミッターの電源を切ってください。そのうえでお客様相談窓口（16 ページ）にご連絡いただき、混信回避のための処置（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合、ご不明な点がございましたら、当社お客様相談窓口（16 ページ）までお問い合わせください。

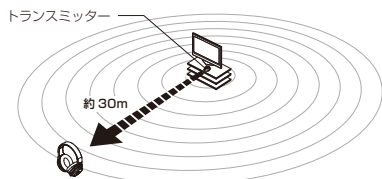
- 本製品は、各国の電波法の適合または認証を取得している各国でのみ使用できます。詳しくは当社ホームページ（<http://www.audio-technica.co.jp/>）の製品情報をご確認ください。
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けております。無線局の免許は必要ありません。
- 本製品は日本の電波法の技術基準に適合しています。貼り付けられているラベルはその証明ラベルです。証明ラベルの貼り付けられた製品を総務省の許可無しに分解・改造、または証明ラベルをはがして使用することはできません。これに違反すると法律により罰せられます。

● 本体の表示について

2.4FH8 この無線機が 2.4GHz 帯を使用し、FHSS 通信方式、と干渉距離が 80mであることを表します。

● 使用可能範囲

トランスミッターから周囲約 30m の範囲でご使用いただけます。トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がある場合や建物の構造などによっては、使用可能な距離が短くなる場合があります。



● ほかの機器との影響

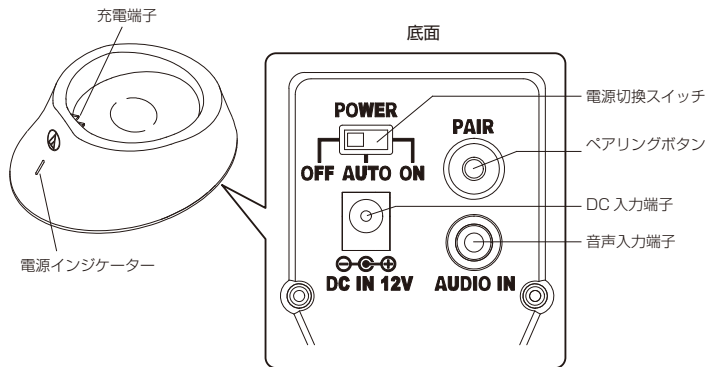
Bluetooth 搭載機器、無線 LAN・Wi-Fi を使用する機器、デジタルコードレス電話、電子レンジなど、本製品と同じ 2.4GHz 帯の電波を使用する機器の影響によって音声が途切れることがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性があるため、干渉しあう機器同士は離して設置してください。

* Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、株式会社オーディオテクニカは、ライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。

⑤

各部の名称(つづき)

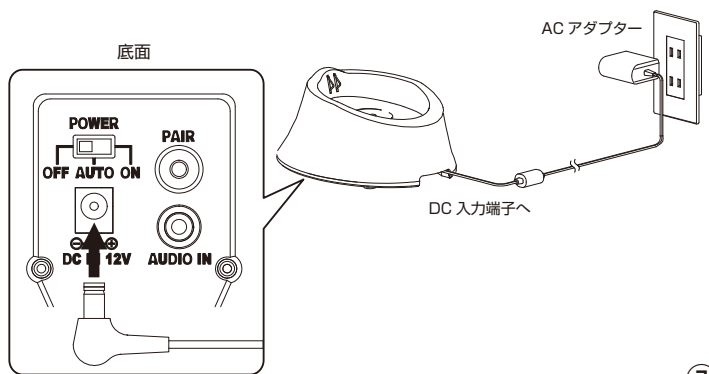
■ トランスミッター AT-DWL500T



使いかた

トランスミッターを準備する

トランスミッターの電源が「OFF」になっていることをご確認ください。トランスミッターと付属の AC アダプターを接続します。



⑦

ペアリングについて

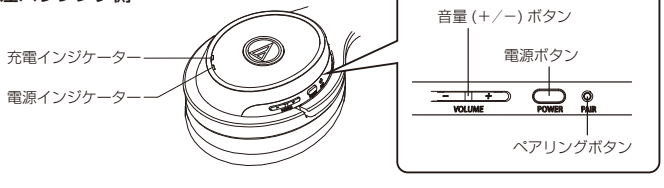
本製品はヘッドホンとトランスミッターのペアリング (ID 登録) を行うことによって、ヘッドホンから音声を再生することができます。工場出荷時には同梱のヘッドホンとトランスミッターの組み合わせでペアリング済みです。

別売の増設用ヘッドホン (ATH-DWL500R) を使用する場合は、万一お買い上げ時のペアリングがリセットされてしまった場合には、改めてペアリングを行ってください。(13 ページ)

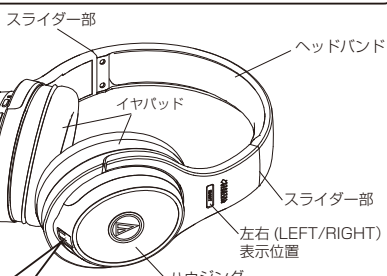
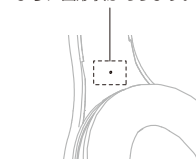
各部の名称

■ ヘッドホン ATH-DWL500R

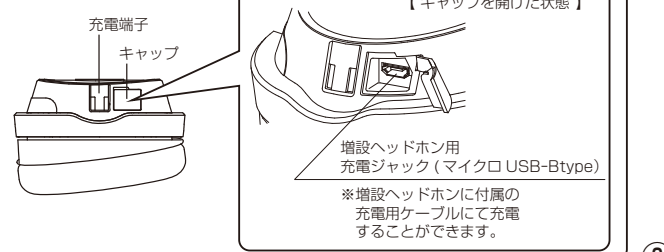
左ハウジング側



* 左側には指で触って分かるように凸形状があります。



右ハウジング側



⑥

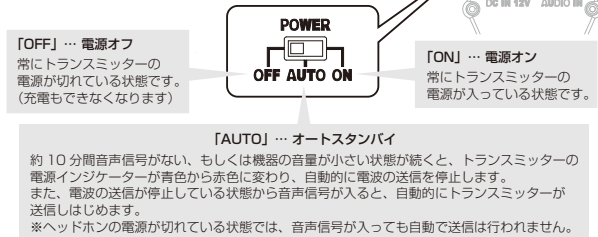
トランスミッターの電源切換を設定する

使用する前にトランスミッターの準備、機器との接続を確認してください。

* 接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

トランスミッターの電源切換スイッチは「ON」「AUTO」「OFF」の 3 段階の切り換えになっています。

お買い上げ時の電源切換スイッチは「OFF」の状態にセットされていますので、使用状況によって電源の切り換えを行ってください。



ヘッドホンを準備する

充電のしかた

* 初めてご使用になる場合は、電池残量が少なくなっていることがあります。その際は充電してからご使用ください。

トランスミッターの電源切換スイッチを「AUTO」または「ON」にします。

1. ヘッドホンの右側を下にしてトランスミッターの上に置きます。
* カチッと音がするまで押してください。

2. ヘッドホンの充電インジケーターが赤色に点灯し、充電を開始します。

3. ヘッドホンの充電インジケーターが消灯すると充電完了 (最長約 6 時間) です。

* 最長約 6 時間とは充電完了にするための目安の時間です。

* トランスミッターの電源切換スイッチが「OFF」の状態では充電できません。

* トランスミッターと通信している状態で、電池残量が少なくなると「ビッポビッ」と音が鳴り、ヘッドホンの充電インジケーターが赤色で点滅します。

* 充電中は使用できません。

* ヘッドホンを充電・保管する際は、スライダー (6 ページ) を元の状態に戻してください。

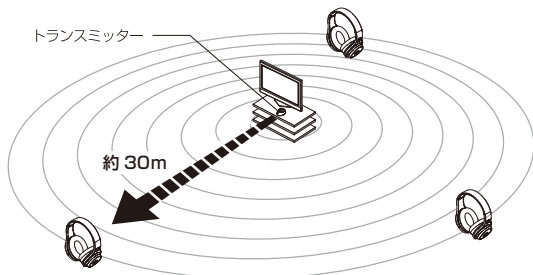
● 本製品を充電する場合は、直射日光を避け、風通しの良い場所 (目安として 10~35℃) で充電してください。電池の劣化を招き、連続使用時間が短くなる、充電ができなくなるなどの恐れがあります。

● 使用可能時間が通常の半分ぐらいに低下した場合は、内蔵充電式電池の寿命と考えられます。内蔵充電式電池の交換については、お買い上げのお店、または当社のサービスセンターにご相談ください。(4 ページ)

⑧

ヘッドホンを増設する

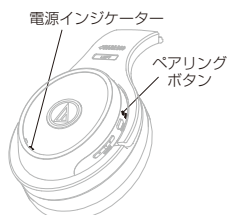
増設用ヘッドホン ATH-DWL500R(別売) をお買い求めいただくと、最大3台まで(増設は2台まで)同時に使用することができます。使用前にトランスミッターとのペアリングが必要ですので、下記の「ヘッドホンとトランスミッターのペアリングのしかた」の手順に従い、ペアリングを行ってください。



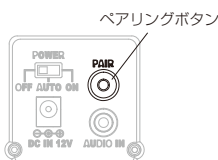
※指定の増設用ヘッドホン ATH-DWL500Rのみ増設することができます。

ヘッドホンとトランスミッターのペアリングのしかた

本製品はヘッドホンとトランスミッターをペアリングした状態で出荷しておりますが、万一、ペアリングがリセットされてしまった場合や、新たにヘッドホンを増設(「ヘッドホンを増設する」参照)した場合には下記の手順にて再度ペアリングを行ってください。



(ヘッドホン)



(トランスミッター)

- トランスミッターの電源切換スイッチを「ON」か「AUTO」にします。
※トランスミッターとヘッドホンを1m以内に近づけ、間に障害物がないことを確認してください。
- ヘッドホンの電源ボタンを押して電源を「ON」にしてください。
- トランスミッターのペアリングボタンを押してください。電源インジケータが青色で点滅します。
- ヘッドホンのペアリングボタン穴に細い棒などを差し込み、ボタンの感触があるまで押してください。この操作はトランスミッターのペアリングボタンを押してから15秒以内に行ってください。(電源インジケータがペアリング中の表示になります)
- トランスミッターとヘッドホンの電源インジケータが通信中の表示になったらペアリングの完了です。(11ページ)
※ヘッドホンの電源インジケータが通信待ちの表示になった場合はペアリングが完了していません。その際は再度ペアリングを行ってください。

13

故障かな?と思ったら(つづき)

症状	ご確認ください	対処方法
音が歪む	ご使用の機器の音量が大きくなりすぎていませんか?(ご使用の機器のヘッドホン端子に本製品を接続している場合)	→接続した機器の音量を小さくしてください。(9ページ)
音が小さい	ご使用の機器の音量が小さくなりすぎていませんか?(ご使用の機器のヘッドホン端子に本製品を接続している場合)	→接続した機器の音量を歪まない範囲で大きくしてください。(9ページ)
	ヘッドホンの音量が最小になっていませんか?	→ヘッドホンの音量を大きくしてください。(10ページ)
充電できない	機器と正しく接続、再生されていますか?	→接続ケーブルが各端子にしっかりと接続されていることを確認してください。(9ページ)
	トランスミッターの電源切換スイッチは「ON」または「AUTO」になっていませんか?	→トランスミッターの電源切換スイッチを「ON」または「AUTO」にしてください。(8ページ)
	充電端子が汚れていませんか?	→乾いた布で充電端子の汚れを拭いてください。
充電エラーが発生する	トランスミッターにきちんと置かれていますか?	→ヘッドホンをトランスミッターにきちんと置いてください。
	周囲の温度は適正ですか?	→適正な温度の場所(目安として10~35℃)で再度充電してください。

それでも症状が良くならない場合は

お買い上げの販売店、または当社のお客相談窓口へお問い合わせください。(16ページ)

15

故障かな?と思ったら

症状	ご確認ください	対処方法
ヘッドホンの音が出ない	音量調整が最小になっていませんか?	→ヘッドホンの音量を確認してください。(10ページ) →接続した機器の音量を確認してください。
	機器と正しく接続、再生されていますか?	→本製品と使用する機器の接続を確認してください。(9ページ) →接続した機器の電源を入れ、再生していることを確認してください。(9ページ) →使用する機器のヘッドホン端子に本製品を接続している場合は、接続している機器の音量を大きくしてください。(9ページ) →ご使用の機器の取扱説明書もご確認ください。
	ヘッドホンの電池残量が減っていませんか?	→ヘッドホンを充電してください。(8.11ページ)
	電波を正しく受信していますか?	→トランスミッターの電源が入っていることを確認してください。(8ページ) →トランスミッターのACアダプターとコンセントの接続を確認してください。(7ページ) →トランスミッターの設置場所や角度を変えてください。(TVラックや棚の中など障害物がある環境では正しく受信できないことがあります。) →周囲に電波を発生させる機器がないか確認してください。(5ページ)
	正しくペアリングできていますか?	→ヘッドホンとトランスミッターのペアリングを行ってください。(13ページ)
ヘッドホンの音が小さい	トランスミッターをモノラルの機器に接続していませんか?	→トランスミッターをモノラル仕様の機器に接続する場合右側の音が出ないので、その場合は市販のプラグアダプター【φ3.5mmステレオジャック⇒φ3.5mmモノラルプラグ】をご使用ください。
ヘッドホンの音が途切れる	電波を正しく受信していますか?	→トランスミッターの設置場所や角度を変えてください。(TVラックや棚の中など障害物がある環境では正しく受信できないことがあります。) →周囲に電波を発生させる機器がないか確認してください。(5ページ)
	機器と正しく接続、再生されていますか?	→接続ケーブルが各端子にしっかりと接続されていることを確認してください。(9ページ)

14

テクニカルデータ

- ヘッドホン
 - 型式 : 密閉ダイナミック型
 - ドライバー : φ40mm
 - 再生周波数帯域 : 15 ~ 22,000Hz
 - 電源 : DC2.4V(内蔵充電式電池)
 - 連続使用時間 : 約10時間*(1mW+1mW出力時)
 - 充電時間 : 約6時間*
 - 外形寸法 : 約H194×W156×D83mm
 - 質量 : 約250g
※使用条件により異なります。
- トランスミッター
 - 変調方式 : FHSS
 - 通信周波数帯域 : 2.4GHz帯(2.403~2.477GHz)
 - 通信距離 : 最長約30m
 - 入力端子 : φ3.5mmステレオミニプラグ
 - 電源 : DC1.2V(付属のACアダプターを使用)
 - 外形寸法 : 約H62×W103×D135mm
 - 質量 : 約120g
- 付属品
 - 接続コード : φ3.5mmステレオミニプラグ(L型)⇒φ3.5mmステレオミニプラグ(1.2m)
 - 変換コード : RCAピンプラグ×2⇒φ3.5mmステレオミニジャック(10cm)
 - トランスミッター専用ACアダプター : AD-5M1205A0
- 別売
 - 交換イヤホン : HP-DWL500 BK / HP-DWL500 WH
 - 増設用ヘッドホン : ATH-DWL500R BK / ATH-DWL500R WH

(改良などのため予告なく変更することがあります。)

アフターサービスについて
本製品をご家庭用として、取扱説明書に従ってご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いいたします。

お問い合わせ先(電話受付/平日9:00~17:30)
製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、販売店または当社窓口およびホームページのサポートまでお問い合わせください。

●お客様相談窓口(製品の仕様・使いかた) ☎0120-773-417
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0211)
FAX: 042-739-9120 Eメール: support@audio-technica.co.jp

●サービスセンター(修理・部品) ☎0120-887-416
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)
FAX: 042-739-9120 Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp

●ホームページ(サポート) www.audio-technica.co.jp/pt/support/

株式会社 オーディオテクニカ
〒194-8666 東京都町田市成瀬2206
http://www.audio-technica.co.jp

1323114200

16